

事例⑦ CO₂見える化とコミュニティ育成(パークシティ柏の葉キャンパス二番街)

- ハード面では太陽光パネル、エコガラス、エコジョーズ、LED 照明等の様々な環境技術の導入によりCO₂削減を推進
- ソフト面の取組として、「CO₂ 見える化」パネルによる家庭内の気付きを誘発するだけでなく、ランキング表示やエコポイント等によってインセンティブを付与し、環境コミュニケーションの活性化とエココミュニティの形成・育成を支援

名 称:パークシティ柏の葉キャンパス二番街
所 在 地:千葉県柏市
事 業 主:三井不動産レジデンシャル株式会社
カテゴリー:集合住宅



外観イメージ

出典：三井不動産レジデンシャル株式会社ホームページ

【環境性能向上に向けた取組】

パークシティ柏の葉キャンパス二番街（三井不動産レジデンシャル株式会社）は、2010年4月以降に順次竣工の全880戸の大規模マンションである。

太陽光発電システムその他、高効率ガス給湯器「エコジョーズ」、LED 照明、Low-E ガラスなど各種省エネ設備を採用している。その他、カーシェアリング用のエコカーを3台、レンタサイクルシステムを60台、それぞれ導入している。

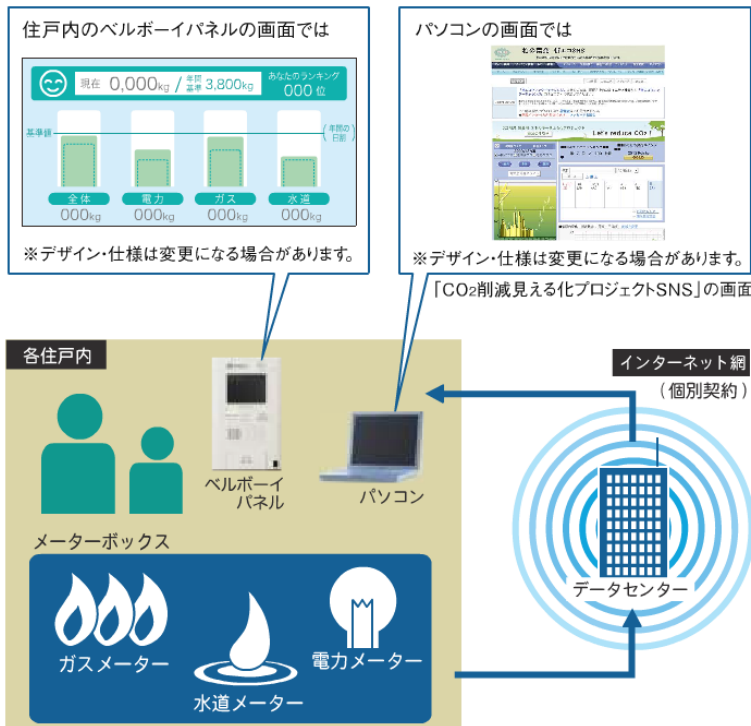
これらハード面の対策に加え、家庭内の電位・ガス・水道の消費量やCO₂排出量を表示するシステム「エコリンコ（Eco LINGo）」を全住戸に標準装備している。このシステムでは、各住戸の「ベルボーイパネル」の画面で毎日CO₂削減量を確認でき、気付きを誘発する仕組みとなっている。さらに、気付きを行動に繋げるために、以下のようにインセンティブを付与する仕組みを提供している。

- ① CO₂排出量の少ない住戸には商業施設「ららぽーと柏の葉」などの地域施設で利用可能なポイントが発行される予定
- ② 家庭内のCO₂削減量を「環境価値」として、柏市などが参画する第三者機関「柏の葉街エコ推進協議会」の認証を受け、「カーボンオフセット証書(ホワイト証書)」として発行、購入を希望する企業等への販売を検討中

また、居住者間でエコに関する情報交換を促すため、

- ③ 専用の SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サイト)では参加世帯のランキングを確認することができ、他のメンバーとのエコに関する情報交換を促進
- ④ 地域住民が活動する「柏の葉エコクラブ」と連携し、良好なコミュニティの形成・育成を支援

以上のような仕組みにより、環境コミュニケーションの活性化とエココミュニティの形成・育成を支援し、エコに関する学習と行動の好循環が生まれることが期待される。



CO₂見える化のイメージ図

出典：三井不動産レジデンシャル提供資料

【各ステークホルダーとの関係】

①入居者

エネルギー消費量・CO₂ 排出量を見える化することにより、効果的な省エネ対策による光熱費削減に結びつけることが可能となる。さらに、省エネ行動を実践することにより、ショッピングに利用可能なエコポイントやカーボンオフセット証書を入手し、企業等へ販売することが可能となる。

また、居住者間での環境コミュニケーションが促進されることにより、エコをきっかけとした良好なコミュニティ形成が期待される。

②事業者

環境への配慮や良好なコミュニティの形成により、資産価値の向上や、企業ブランドイメージの向上効果が期待される。